

## N30b 超長周期変光星候補天体の特性とHR図上の位置

藤原智子、山本一登、三好蕃（京都産業大学）

これまで2回に亘り、以下の文献に記されている星の等級変化を辿ってきた。

1. 「Almagest」(137年) L.Claudius Ptolemaeus
2. 「Suwar al-Kawākib」(986年) Aṣ-Ṣūfī
3. 「天球圖譜」(Historia Coelestis (1725年)) John Flamsteed
4. 「Uranometria Nova」(1843年) Wilhelm August Argelander
5. 「Star Catalogue 2000.0」(1982年)

これらのデータを比較し、著しい変化のあった星を報告し、その変光周期解析をした。

今回は各文献の平均等級を求めてデータを補正し、より信頼度の高い値を使って比較を行ない、それによって得られた超長周期変光星の候補天体について、HR図上の位置と、その特性について報告する。更に参考資料として現在分かっている変光星の周期別分類を行ない、超長周期変光の可能性について議論する。